

市史編さんだより

第3回

『新編 桐生市史』編集委員

中世部会長

須藤 聡

桐生城主は誰か？

戦国時代、桐生市梅田町にある城山には、桐生城（松杓山城）が築かれていました。前回の『桐生市史』には、城主の桐生大炊助（介）助綱などの桐生氏が、戦国時代の桐生地域を支配していたと記されました。

しかし『群馬県史 資料

編』などで室町から戦国時代の史料を調べても、桐生大炊助をはじめとする桐生氏の名前はほとんど出てきません。その代わり、桐生地域周辺に関わる記述には、佐野大炊助など佐野一族の名前を多数見つけることができます。その代表例が梅田町の西方寺木彫阿弥陀如来像の胎内に墨で

書かれた銘文で、永正18（1521）年、「佐野大炊助助綱」が彩色を施したとあります。西方寺は城山の麓にあり、桐生氏の菩提寺であることから、桐生城主桐生大炊助の実体は佐野大炊助であったことがわかります。

これらの史料をもとに、15世紀半ば以降の桐生地域を支配していたのは、実は佐野一族であったことが、近年の研究でわかってきました。そして佐野氏が桐生地域を拠点にしていたということから、「桐生佐野氏」という呼称も定着しつつあります。



西方寺木彫阿弥陀如来像の胎内の銘文

赤線部分に「佐野大炊助助綱」と記されています。



桐生松杓山城跡

このようによく知られた歴史的事柄も、新しい史料の発見や史料の読み直しにより覆ることは珍しくありません。そこに約60年ぶりの新しい桐生市史編さんの意義があります。

問い合わせ 市史編さん室 (☎473335)

パチリいい顔 桐生っ子

市内に居住する3歳まで（申し込み時）の桐生っ子を募集します。

申し込み = Eメール (miryoku@city.kiryu.lg.jp) にお子さんの氏名（ふりがな）、生年月日、住所、保護者氏名、電話番号を記入し、お子さんの画像データを添付のうえ、魅力発信課 (☎内線505) へ。



いえなか れい 家中麗ちゃん
3歳2か月
(境野町六丁目)



やなぎばし まのか 柳橋茉ノ花ちゃん
5か月
(相生町二丁目)



たかはし ゆい 高橋優維ちゃん
2歳2か月
(広沢町三丁目)

広告